

#### 委員名簿

学校運営協議会委員 10 名 (敬称略)

梶原 健司	神奈川総合産業高等学校 校長
森 武昭	神奈川工科大学 特命教授
松谷 康之	青山学院大学理工学部 教授
天野 和広	相模原市立大野南中学校 校長
今野 友行	岩崎学園 横浜デジタルアーツ専門学校 教務部 部長 (欠席)
関 みどり	相模原市経済学部 雇用政策課 課長
橋元 雅敏	さがみはら産業創造センターSIC 代表取締役
八木橋 昭	文京中央自治会会長
森 恭子	全日制サポーターズ会長
安齋 明子	定時制後援会代表

#### 学校職員

居石 博幸	副校長
福田 浩之	教頭 (全日制)
佐藤 弘之	教頭 (定時制)
岸 慶郎	事務長

#### 全日制

相場 昌晴	総合企画推進グループ
横山 修介	教育課程グループ
小泉 学	健康相談グループ
藤塚 久雄	生徒活動グループ
池山 弘司	進路ガイダンスグループ
伊藤 豊	連携広報グループ
篠原 正樹	総務管理グループ
西山有希乃	連携広報グループ (記録)

#### 定時制

萩原 益弘	学事グループ
樋口 順亮	生活指導グループ
佐藤 昌和	生徒支援グループ
数間 一博	管理グループ

## 1 平成 29 年度 委員委嘱

## 2 校長挨拶

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の先行実施として、昨年度 5 校、今年度 25 校が指定されている。本校もその 1 つである。来年度からは全校実施の予定である。本校を良い方向へ導く忌憚のないご意見、ご指導をよろしく申し上げます。

## 3 出席者紹介

出席者の紹介と自己紹介

## 4 神奈川県立神奈川総合産業高等学校学校運営協議会の設置および運営について

資料 p. 24～26 神奈川県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の通り

資料 p. 27～29 神奈川県立学校における学校運営協議会の運営等に関する要綱の通り

## 5 平成 29 年度の学校目標及び取組について

## 6 本校の現状と課題

### (1) 学校の教育計画に関すること。(副校長)

資料 p. 5～13 の通り

全日制は今年度より半期単位認定制（セメスター制）を導入。

### (2) 教育課程の編成に関すること。(副校長)

学校要覧 p. 18～23 全日制、p. 41～44 定時制の通り

全日制の科目に▲▼のマークがあるものが、今年度より半期単位認定をしているものである。

### (3) 学校組織の編成に関すること。(副校長)

学校要覧 p. 28 全日制、p. 49 定時制の通り

PTA を全日制はサポーターズ、定時制は後援会という名前で保護者が学校を支えている。

### (4) 学校予算の執行に関すること。(事務長)

学校要覧 p. 4 (1)

支出の部

平成 28 年 4 月 1 日現在 163 名の職員が所属している。

維持管理費は光熱費、学校の修繕費がほとんどで、教科等の備品や図書は一千万にも満たない。事業費は就学支援金制度により国から支援された授業料を収入とし、また県に授業料として支出している。

収入の部

使用料及び手数料は授業料である。また、学校のコンピュータの賃借料を一千万円ほど払っているので合わせると事業費と同程度の額になる。

財産収入は自動販売機を設置し、貸付により収入を得ている。

今年度の予算も昨年度の予算と同等であり、適正的確に執行していく。

県費については県行政、私費についてはPTAの監査委員で年2回監査を行っている。

(5) 学校施設及び設備等の管理及び整備に関すること。(事務長)

学校要覧 p. 4 (2)

旧相模台工業高校の敷地 30,005 平米と国から借りている 11,478 平米を合わせた約 41,000 平米の土地を持っている。建物は平成 17 年 2 月に竣工し、その面積は 23,819 平米である。10 年以上経過し、老朽化してきている。施設・設備の修繕を行い、適切な維持、管理をしている。

7 意見聴取 (●：学校運営協議会委員、○：学校職員)

(1) 教育課程の編成に関すること。

- 生徒は平均してどのくらいの科目を履修しているか。
  - 教員の負担が重いのではないか。週に何時間担当しているか。
  - 生徒の履修科目数の上限は設けているのか。
  - 1 年次の時間割がほぼ埋まっている状態では、予習・復習が難しいのではないか。また、1 年次に無理して履修する傾向にあるように思う。履修のコントロールが必要。実際の生徒の履修率はどうなっているのか。
  - 生徒の再履修率はどうなっているのか。
  - 学校案内の時間割り例について、同じものが週に 2 時間通年に設置されているものはどういうことか。進学を考えている生徒の履修、時間割はどうなっているのか。
  - シラバスは作成しているか。
  - 100 分授業について、科目の性質はあるが、生徒の評価、教員の評価はどうであるか。100 分授業が有効であると認識しているのか。
  - 教える準備や生徒の教わる教材の量が多く大変なのではないか。アクティブラーニングを取り入れることで、教える内容が従来と同じようにできるのか。
  - 100 分授業にして授業回数は減ったのか。
  - 保護者の声として、子どもは 100 分授業を楽しんでいるようである。2、3 年次生は昨年より 10 分授業時間が延びることで不満もあるようだが、1 年次生は比較してないので、適応している。また、入学してから自ら進んで興味のあることに取り組み、かなり変化が見られる。生きる力を養うような学校であると思う。習熟度別の授業も行っているが、さらに進学先の引き上げをしてほしい。自分の未来は自分でつくるを目指してほしい。
- 学校案内の p. 7 に具体的な時間割の例が載っている。1 年次は入学前に履修指導を行い、文部科学省の必履修科目を優先し、専門科目は少ない。履修の順序があるものは確実にとるように指導している。ゆえに、1 年次の時間割はほぼ埋まっている。
- 2、3 年生は興味のある専門科目の履修が増える。また卒業単位の 74 単位以上、専門科目が 25 単位以上を満たしていれば、進路にあわせて履修を調整する。来月より来年度の履修希望調査を始める。

- 週の時間数は34時間である。月曜日、火曜日の4限目は設定していない。
  - 同じものが週に2時間通年に設置されているものは4単位の科目であり、通年と半期認定が混在している。
  - 入学時の資料として、科目のとり方パターンを示している。時間割例では専門教科が多いが、一般受験を目指す生徒は数学や理科などの専門科目を利用している。
  - 年間指導計画を各科目で作成し、生徒に配付している。シラバスを参考に学習計画ガイダンス、個別面談を通して履修希望調査を行う。
  - 今年度より100分授業の導入なので、まだ2ヶ月半ほどしか経っていない。まだ検証段階である。
  - 実技を伴っている科目は短さを感じることもある。座学は今までの授業方法では難しい。アクティブラーニングで生徒が能動的な授業を組み合わせしていく。ICT教材の活用、グループワーク、ペアワークなどの生徒が参加する授業においては、100分の有効性はある。授業の進度も踏まえつつ、授業方法を考えていかななくてはならない。
  - 授業の終わりに宿題を出し、次の授業で小テストを行うなど、効果的に進めている。
  - 35週に近づけるために100分授業なので、分数は増えて、授業回数は減っていない。
- (校長) 教員の授業時数の平均は通年で週17.0時間。前期後期でバランスが極端な教科もある。
- 現在、教職員で3つの課題に取り組んでいる。1つ目は4限目の終了時間が16時55分であり、実習科目などの片付けを行うと勤務時間の17時を越えてしまうことである。2つ目は35週問題。実施するためには100分授業で対応できている。3つ目は神奈川県唯一の総合産業科の特色ある科目を維持することである。進学を見据え、英語・数学のような基本的な教科も維持する。次回には資料を整え、平成30年度へ向けての課題をいただく。

## (2) その他

- 100分授業を受けている生徒の集中力に驚いている。授業を実際に見てみたい。
- 道徳、ルール、マナーの教育をしっかりとしてほしい。
- 全日制のキャリア教育はどんな取り組みをしているか。定時制のさがみはら若者サポートステーション等との連携はどのように行っているのか。
- 学力不振者に対して、どのような支援をしているか。そのような生徒に対して、教員の資質・スキルをどう養っているのか。
- SSHの指定が終わり、予算が縮小されたのではないかと。授業費の内訳はどうなっているのか。
- 未履修、未修得の割合はどのくらいか。必修科目を増やしたほうがいいと思う。
- 授業の工夫は個々に任されているのか。学校全体としてなにか取組があるのか。
- 授業見学の機会を設ける。
- 自習室の設置。教員の個別指導を行っている。
- 教科による授業改善は行っているが、次回に具体的な資料を整える。

## 8 その他

### (1) 学校運営協議会会長、副会長の選出、承認

会長 梶原 健司 神奈川総合産業高等学校 校長  
副会長 森 恭子 全日制サポーターズ会長  
安齋 明子 定時制後援会代表

### (2) 学校運営協議会終了後、校内施設見学会（15：30～16：00）

参加者 森 武昭氏、松谷 康之氏、森 恭子氏、安齋 明子氏  
案内者 副校長

### (3) 文京自治会活動の広報

7月15日（土）七夕祭り

9月30日（土）、10月1日（日）本校の文化祭にて作品のブース展示、大野南ふるさとまつり

11月4日（土）ふれあい祭り

大道芸部やジャズバンド部等の発表の場として応援したい。

### (4) 今後の予定

11月 第2回学校運営協議会 中間報告

3月 第3回学校運営協議会

委員には9月13日（水）、3月8日（木）の生徒研究発表会、文化祭、卒業式、入学式等の案内を送付する。